



ROTARY  
INTERNATIONAL  
DISTRICT  
2560

国際ロータリー第 2560 地区

月信

2月号 Feb  
2015-2016  
Vol.08

夢 (gift) を



明日へつなげよう。



世界へのプレゼントになろう

01



## 5%増強にお力を貸して下さい

2015-16 年度国際ロータリー 第 2560 地区ガバナー **山本 和則**

『ロータリーの友』2月号で横組みのページ「視点」の欄に会員増強についての意見を掲載させて頂きました。ご一読頂けましたら幸甚に存じます。会員の維持増強は、どの地区においても大きな課題となっています。近年、当地区も日本の他地区同様に会員減少が続いていました。十数年前、原信一ガバナー（長岡東RC）の時に、地区番号と同じ「2560人達成」を目標にして取り組んだことがありました。今年度は、5%増の目標です。実績は年度の間点12月末で、30名の増加（総会員数で2107名）となっています。

長い間減少傾向が続いた要因を考えた時に、様々な事柄がありますが、一番は経済の低迷ではないかと思っています。私たちロータリーの基本は、金看板とも言われている職業奉仕です。その職業奉仕において、思ったほどの利潤が得られていないのです。借入れをしてまで奉仕や寄付行為をするということは、ほとんどないと考えます。そのために入会をためらったり、寄付行為の減少が続いて

いました。昨年度の米山記念奨学会に対する寄付額が日本全国で14億円台まで回復したことは喜ばしいことです。

ロータリーは、世間一般から見ると、高齢者と言われる人の比率が高い団体です。従って、健康上の理由による退会はやむを得ない面があります。これを補填する意味からも、壮・青と言われる世代の入会が望まれます。ロータリーは地域社会においても、また世界的規模においても、価値あるさまざまな活動をしています。宗教や人種や国境を超えて、これほどの規模で奉仕活動をしている団体は他にないでしょう。ロータリーの魅力について大いに語り合い、それを引き出して、会員の増強に繋げて頂けますように、皆様のお力をお貸し下さい。



02



## 2014-15 ポリオ撲滅のための DDF 寄贈に対する感謝状

第 2560 地区

「End Polio Now: 歴史に1ページを刻もう」キャンペーンに地区財団活動資金（DDF）を寄贈して下さいました貴地区のご厚志に対しここに深く感謝申し上げます。

今後もポリオ撲滅という世界中の子供たちとの約束を果たすためにともに力を合せてまいりましょう。

ロータリー財団 管理委員会

2014-15 年度委員長

ジョン・ケニー

国際ロータリー

2014-15 年度会長

ゲイリー C.K. ホアン

2015年12月1日に開催されたロータリー財団地域セミナー（ホテルグランパシフィック LE DAIBA）で受賞しました。







# 03



## ロータリー財団地区奨学生選考試験を終えて

ロータリー財団委員会 奨学金委員長 中村 隆輔（新発田城南RC）

去る12月12日に新潟市のホテルイタリア軒で2016年～17年度派遣国際ロータリー第2560地区奨学生の選考会が開催されました。当日は県内から5名の方々の応募がありました。

応募者としては、ここ数年3名程度で推移していましたが今年度は「未来の夢計画」移行後では説明会の出席者も15名と最大となりました。

これは募集から選考を経ての派遣までの期間の短縮、またマスコミによる財団の地区奨学生の紹介記事等々が奏功し、応募者の増加につながったものと考えております。

来年以降も引き続き各クラブの皆様方と協力しながら、人材の発掘に努めてまいりたいと考えております。

選考会は山本ガバナー、渡辺財団委員長等の選考委員による日本語の面接試験と語学講師による留学先の言語での面接試験が実施されました。

応募者は男性2人、女性3人で経歴等も学生や社会人の方もおり様々でしたが、皆様それぞれ面接では「夢」等を熱く語っていただきました。

結果は2名が奨学生候補者として選考され、過日ご本人と各スポンサークラブに合格の連絡をさせていただいたところです。お二人にはこれから3月5日に開催されますオリエンテーションを経て、それぞれの留学先の入学許可を得て留学となります。

国際ロータリー第2560地区全員で送り出したと思います。



奨学生募集説明会の様子 (2015年7月)

# 04



## 米山記念奨学生選考会報告

米山記念奨学委員会 奨学生選考委員長 宇尾野 隆（新潟RC）

1月9日（土）に万代シルバーホテルに於いて2016学年度、2560地区米山記念奨学生選考会を開催しました。

本年度は、21名の奨学生枠の中で昨年度からの継続奨学生3名を除く18名の募集となりました。

当日は、新潟県内の大学、高等専門学校より47名の受験生が参加し、山本ガバナー、田中ガバナーエレクトにもご参加をいただき地区米山記念奨学委員会のメンバーを中心に18名が選考の面接官として、個人面接・グループディスカッションによる選考を実施致しました。

本当に優秀な学生の皆様にご応募をいただき

難しい選考でありましたが、18名の奨学生を選考することができました。面接官の皆様、長時間に渡り大変お疲れさまでした。

また、ご推薦いただきました大学関係者の皆様に厚く御礼を申し上げます。

今後は、各大学への合格者通知を経て各クラブに世話クラブのお願いをしていく予定です。

これから、奨学生にはロータリーの精神や活動を理解していただき日本と母国の懸け橋として将来活躍できるようにロータリアンとの交流を深めていただき、各種行事にも参加をさせていただこうと思っています。

会員の皆様のご協力をお願い致します。



奨学生選考面接試験の様子

# 05



## 2016-17年度 1年交換派遣学生選考試験

青少年交換委員長 横山 亘（高田東RC）

新年明けましておめでとうございます。昨年中は青少年交換にご支援とご協力を賜り誠にありがとうございました。本年もよろしくお願いたします。さて山本ガバナー年度も半分を折り返し、青少年交換委員会では既に田中ガバナーエレクト年度の活動を始めております。

昨年末にガバナーとエレクトに出席を賜りまちなかキャンパス長岡で本年度派遣予定の1年交換学生の選考試験が行われ、無事に2名の合格者を決定いたしました。選考試験は、筆記試験と面接を行い筆記試験では英語と一般常識、面接では保護者同席のもと30分程、派遣に対する想いを述べてもらいました。事前に学生から作文を提出いただいたので、その内容を基に答申いたしました。両名とも志が高く留学への熱意が感じられました。

試験を終えて山本ガバナーから「このプログラムは単なる留学ではなく、ロータリーの掲げる国際理解と世界平和の実現のために、自分の目的と目標を明確に持ってチャレンジして下さい。また帰国してからが本当の諸君の活躍の場が待っています。そして、関わる全ての人々に感謝の気持ちを忘れずに。」とコメントいただきました。学生への大変心強い応援メッセージになったと思います。出発まで7ヶ月、しっかりとフォローしてまいります。





06



## 青少年一年交換受入学生

高田東RC 国際委員長 小坂 靖至 (高田東RC)

高田東RCでは2015-16年度にドイツよりの青少年一年交換学生を受入しました。

Laureline Felicia Boppさん16歳、2015年8月に来日、9月より一年間、上越高等学校に通い始めました。とてもかわいい娘さんで、リンちゃんという愛称で皆様から好感を持たれ、勉学は勿論、日本の生活、文化を満喫しておられます。受け入れ家庭は4か所、現在は2つ目の家庭でお世話になっています。帰国まで日本の良さを知っていただき、

帰国後もその良さを母国で伝えていただけることを願っております。



07



## 1年交換派遣学生オリエンテーション・クリスマスパーティー

青少年交換委員長 横山 亘 (高田東RC)

青少年交換委員会では恒例の1年交換派遣学生オリエンテーション・クリスマスパーティーをANAクラウンプラザホテル新潟で昨年末に行いました。オリエンテーションは派遣までに、学生、保護者、ホストファミリー、クラブ関係者、カウンセラーを対象に数回行い、義務出席となっております。これは、青少年交換プログラムの目的やシステム、また、派遣と受入時におけるルールと注意点や不安の解消をレクチャーするものです。何事も事前の準備が大切ということです。

そしてクリスマスパーティーは、ROTEX主催で行わ

れ、2560地区の派遣学生OBが大勢駆けつけてくれました。時間のない中、手作りのアトラクションを準備し、歌の合唱、クイズ大会やビンゴゲームで盛り上がり、またサプライズで、受入学生のリンちゃんがヴァイオリンを演奏して楽しませてくれました。

終始和やかに進んだクリスマス会でしたが、パーティーの結びに、ROTEXのメンバーが、派遣と受入学生に対しアドバイスと応援のエールをしてくれた事に感動を致しました。彼らも立派に成長していることを実感し大変嬉しく思ったことを覚えています。



08



## 地区幹事所感

2015-2016年度 RI2560地区 地区幹事 角南 邦彦 (新潟南RC)

昨年の今頃は、山本ガバナーエレクトがサンディエゴの国際協議会から帰国し地区諮問委員会、第2回地区運営会議、国際協議会帰国報告などで大忙しの頃でした。

2月21日(土)には会長エレクト研修セミナー(PETS)が開催され、いよいよ山本ガバナー年度が始動しました。その後5月10日には600人規模の地区研修・協議会が開催され、7月1日の山本ガバナー就任に向け万全の準備が構成されました。7月からはいよいよ2560地区56クラブへのガバナー

公式訪問もスタートし、週3日ペースでの訪問が12月まで続きましたが、私が一番心配していたのはガバナーの健康状態でした。各地区委員会の開催、クラブの周年行事への参加、地区ゴルフ大会、最大のイベントである地区大会など、身体の休まる日が無い中、本当に意欲的に取り組んでいらっしゃいました。

まだまだ、6月末まで任期がありますので、私たち幹事団も気を抜かず、山本ガバナーを全力で支えようと思っています。



公式訪問の様子





2012・2013年度、台湾研修に行かせて頂いた新発田中央高校出身の伊藤猛と申します。その節は本当にお世話になりました。現在は東京にある帝京大学の2年生になりました。台湾研修で学んだ事を活かして、今では海外の人と盛んに交流しています。当日、出始めのマジシャンだった私ですが、今は学生をしながらプロのマジシャンとして年間200以上のショーをする様になりました。

昨年行われたマジックの全国大会では2位になりました。CMやテレビに出演出来たのもロータリークラブさんのお陰です。本当にありがとうございました！！

もし、良かったら例会などにマジシャンとして呼んで頂きたいです！ロータリークラブさんのお陰で成長した私を是非、見て頂きたいです。我々普段6人で活動していて飽きないマジックショーが出来ると思います！！



## 新入会員

1月20日までに報告いただいた新入会員を掲載しております。

R	C	氏名	入会日	会社名
新発田中央	高村 賢樹	2015.9.30	GATTO合同会社	
新発田中央	青井 正規	2016.1.6	(株)BODY WORKS AOI	
佐 渡	前田 朋信	2016.1.1	佐渡ガス(株)	

R	C	氏名	入会日	会社名
新 潟	河西弘太郎	2016.1.5	(株)ニューメディア新潟センター	
中 条	須貝 洋子	2016.1.14	(株)南都屋	

## 2015-16 年度 出席報告書

クラブ名	例会数	出席率	会員数			
			7月1日現在	12月末現在	女性	増減
第1分区 (9クラブ)			355	357	36	2
新 発 田	3	97.11	92	93	0	1
村 上	4	90.44	35	35	7	0
水 原	4	84.77	23	22	1	-1
中 条	3	89.52	33	33	3	0
新 発 田 城 南	4	84.93	41	39	5	-2
豊 栄	4	89.42	26	26	3	0
新 発 田 中 央	3	80.13	48	48	5	0
中 条 胎 内	4	85.16	30	32	6	2
村 上 岩 船	2	86.66	27	29	6	2
第2分区 (9クラブ)			450	458	18	8
新 潟	4	88.18	93	98	0	5
新 潟 東	3	78.69	64	65	7	1
新 潟 南	3	92.40	95	99	0	4
佐 渡	4	89.30	7	6	0	-1
新 潟 西	3	84.70	39	38	1	-1
佐 渡 南	4	87.97	44	44	4	0
新 潟 北	3	76.29	45	45	0	0
新 潟 中 央	4	77.89	26	26	0	0
新 潟 万 代	4	84.21	37	37	6	0
第3分区 (6クラブ)			130	131	8	1
新 津	3	73.34	20	19	0	-1
村 松	5	92.72	10	11	0	1
五 泉	4	79.40	17	18	3	1
白 根	4	84.14	44	43	3	-1
新 津 中 央	4	81.05	28	29	1	1
阿 賀 野 川 ラ イ ン	4	70.00	11	11	1	0
第4分区 (11クラブ)			358	363	23	5
三 条	3	89.10	51	54	0	3
燕	4	60.93	33	33	1	0
加 茂	4	89.65	29	29	6	0
三 条 南	3	90.66	49	52	1	3
分 水	4	88.42	32	31	2	-1
見 附	3	75.00	19	19	1	0
吉 田	3	86.80	32	33	2	1
三 条 北	4	79.31	63	64	3	1

クラブ名	例会数	出席率	会員数			
			7月1日現在	12月末現在	女性	増減
巻	4	80.00	9	9	0	0
田 上 あ じ さ い	4	46.40	7	7	1	0
三 条 東	4	71.97	34	32	6	-2
第5分区 (7クラブ)			310	317	28	7
長 岡	4	84.85	40	44	2	4
柏 崎	3	89.92	46	48	0	2
長 岡 東	3	91.67	67	67	7	0
柏 崎 東	3	90.13	54	53	5	-1
栃 尾	4	94.87	21	20	0	-1
長 岡 西	3	86.53	47	49	6	2
柏 崎 中 央	4	90.12	35	36	8	1
第6分区 (6クラブ)			154	158	9	4
十 日 町	3	98.95	31	32	1	1
小 千 谷	3	78.91	44	43	3	-1
雪 国 魚 沼	3	73.10	22	24	4	2
十 日 町 北	3	100.00	22	23	0	1
津 南	4	81.48	26	27	1	1
越 後 魚 沼	4	77.70	9	9	0	0
第7分区 (8クラブ)			320	323	26	3
高 田	3	99.33	62	63	0	1
直 江 津	4	71.73	49	50	3	1
新 井	3	76.77	32	31	3	-1
糸 魚 川	4	80.90	41	42	3	1
高 田 東	3	83.33	39	38	2	-1
糸 魚 川 中 央	4	72.97	37	37	0	0
頸 北	3	87.20	14	14	1	0
越 後 春 日 山	3	72.22	46	48	14	2

ク ラ ブ 数	56クラブ
2015年7月1日会員数	2,077人
2015年12月末日現在会員数	2,107人
女性会員数	148人
純増減会員数	30人
当月平均出席率	83.38%

掲載記事に関するお問い合わせ (紙面の都合で掲載できなかった写真はwebをご覧ください。)

国際ロータリー第2560地区ガバナー事務所  
〒951-8053 新潟市中央区川端町6-53 ホテルオークラ新潟1階  
TEL:025-222-2561 FAX:025-222-2565

E-mail : k.yamamoto@rid2560niigata.jp  
URL : http://www.rid2560niigata.jp



コーディネーターニュース 2016年2月号

第2ゾーンロータリーコーディネーター 金杉 誠

### 日本ロータリー100周年に向けて

日本のロータリーは1920年10月、東京ロータリークラブが誕生したことに端を発します。初代会長は米山梅吉氏、幹事は福島喜三次氏が選ばれましたことは、皆様良くご承知のことと思われまます。従いまして東京オリンピックの年2020年に、私たち日本のロータリーは100周年を迎えることとなります。もう既にロータリーの友では、「100周年記念誌編集委員会」が神崎正陳委員長の下立ち上がっておりますし、「日本のロータリー100周年委員会」も北清治準備委員長（直前RI理事）の下、東京ロータリークラブとの打ち合わせ等の活動を開始しております。

勿論100周年に向けて日本のロータリー活動を一段と活性化することが、私たちロータリアン一人一人に課せられた最大の課題であることは言うまでもありません。そのような趣旨で、昨年12月に杉谷RI理事が召集され、ラビンドランRI会長はじめとして世界と日本のシニアリーダーが集まって、東京で開催されました、ロータリー研究会に於きましても、第1セッションで「日本のロータリー100周年に向けて」と言うパネルディスカッションが開かれました。このセッションでは北直前理事がモデレーターを務められ、共に3年目のコーディネーターであります、第1ゾーン岩渕RRFC、第3ゾーン岩永RPICそして私がパネリストを務め、それぞれのコーディネーターから見た現状の課題と提言を、90分間に亘ってお話をさせて頂く機会を頂戴しました。

冒頭、北モデレーターから「2010年以来RI理事会は、ロータリーの戦略計画を掲げております。ロータリーがこれからもダイナミックな組織でありつづけ、世界中の地域社会に貢献していくための将来への指針となるのがロータリーの戦略計画です。ロータリー躍進の担い手となるのはクラブであります。クラブや地区の活性化の手法として示されたものです。」との戦略計画の明快なご説明がございました。それを受けまして私たちが現状についての課題について発言したのち、北モデレーターが2020年までの5年間で、日本のロータリー活性化のためにどう使うかの重要性や、あくまで主役であるロータリークラブが活性化する為に、コーディネーターや地区からの支援、RIのリソースやツールの活用などによって、クラブが未来への計画を立て、新しい手法を取り入れ、活発な奉仕活動を実践することの重要性について触れられました。

発表が終わったのち、ラビンドランRI会長に呼び止められ、会長の部屋で杉谷理事や近隣諸国の理事も入れて、1時間近くに亘って意見を求められました。RI会長の日本のロータリーに対する関心の深さを改めて思い知らされた次第です。私たち日本のロータリアンが、今後どのように戦略計画を実行していくかについては、世界中のロータリアンが注目しているわけですので、しっかりと結果を出していかないとつくづく思いました。皆様方の一段のご理解とご協力をお願いいたします。ご興味のある方は、研究会の報告書が後日各ガバナー事務所の送られると思いますので、ご覧いただければ幸いです。





# ハイライトよねやま 190

2016年1月14日発行  
公益財団法人ロータリー米山記念奨学会

## 寄付金速報 — 今年もよろしくお願ひします —

12月までの寄付金累計は前年同期と比べて4.7%増(普通寄付金1.0%増、特別寄付金6.0%増)、約4千万円の増加となり、7年ぶりに、7月からの累計寄付額が9億円の大台に乗ることができました。また、12月のみの単月寄付額も過去7年間で最高額となりました。ロータリアンの皆様のご支援に深く感謝申し上げます。

今月初めに「2015年度 下期普通寄付金のお願い」を各ガバナー事務所経由、もしくは当会から直接配信したEメール(一部FAX)で全ロータリークラブ宛てにお送りしました。普通寄付金は当会事業の重要な安定財源であり、国内全クラブから普通寄付の確約をもらうことを条件に、財団法人設立の許可を得た経緯があります。当事業は全地区が参加する「多地区合同活動」であることをご理解いただき、今年もご支援賜りますようよろしくお願ひいたします。

## 台湾米山学友会が総会を開催 — 新理事長が決定! —

12月19日、台湾米山学友会(正式名称:社団法人中華民國扶輪米山会)の年次総会が台北市内で開催され、学友とその家族70人のほか、日本や台湾のロータリアン、台日交流関係者37人が参加し、総勢107人の盛会となりました。

今回の総会で任期満了を迎える林維宏<sup>リンウェーホン</sup>理事長は、あいさつの中で、恩返しとして始めた日本人留学生支援の累計奨学生数が14人になったことを報告し、3年間の任期を支えてくれた歴代理事長や学友会役員・会員への感謝の思いを語りました。当日は、台湾学友会が支援している日本人の現役奨学生4人と、昨年度の元奨学生2人も出席し、日本語と台湾語で、それぞれ自己紹介や台湾学友会への感謝の言葉を述べました。



任期満了を迎えた林維宏氏(左)と新理事長の吳憲璋氏(中央)

また、同総会では3年に1度の役員改選が行われ、投票の結果、第7代理事長として吳憲璋<sup>ウーシェンツァン</sup>氏(1986-87/東京原宿RC)が選任されました。吳氏は、日本留学後、台湾の刑務所改革に尽力。全国の刑務所・矯正施設を統括する法務部矯正署の署長として重責を果たし、定年退職後の現在は、法務部顧問、国立交通大学兼任講師を務めています。また、幹事長には、張逸昆<sup>チャンイックン</sup>氏(1997-98/杵築RC)の続投が決まりました。新体制となった台湾米山学友会の今後の活躍が期待されます。

### ご寄付の確定申告用領収書について

～1月末日までにクラブへお届けします～

昨年1年間(1～12月)に特別寄付をしたすべての方、もしくは普通寄付金の領収証を申請したクラブには、1月末日までに(確定申告に間に合うように)、認定証の写しが付いた申告用領収証をロータリークラブ宛てに送付します。





## タイ米山学友会が海岸清掃活動

11月14日、タイ米山学友会が奉仕活動の一環として、バンコクから約100km離れたChonburi県のBangsean Beachの海岸清掃を行いました。この活動には、学友とその家族25人が参加。米山記念奨学会のシンボルマークの入ったお揃いのポロシャツを着てビーチ周辺のゴミを拾う学友らの姿に、観光客やお店の人たちからも感謝の声がかけられました。「私たちの活動を見て、自分もこれからビーチを大切に、ゴミを捨てないようにしよう、と言われる方もいました。ビーチをきれいにするには、自然に優しい環境をつくるためにも重要ですし、会員同士も楽しく交流できました」と、幹事のウォラナー・ゲンスリヨングさん(2001-03/東京調布むらさきRC)は、活動の意義を語りました。



## 学友の団体が法務大臣表彰を受賞！

人権擁護活動に功績があった団体を表彰する「人権擁護功労賞」の表彰式が昨年12月14日、法務省で行われ、今年度から新しく創設された法務大臣表彰(ユニバーサル社会賞)に、米山学友の尹成化さん(1995-97/広島東RC)が副代表をつとめる「市民グループええじゃん(Asian)」が選ばれました。「市民グループええじゃん」は、広島県廿日市市を拠点に、在日外国人のためのなんでも相談、同行サポート、FM多言語放送などを通じて、日本人と外国人が互いの立場を理解し合える多文化共生の社会づくりを目指しています。



尹成化さん(中央)

**尹成化さんからのコメント:**「日本での生活、特に、災害や事故に遭ったとき、言葉にハンディのある外国人は本当に苦勞しています。私たち一市民にもできることは、関心を持ち、一歩ずつ歩み寄ること。この小さな一歩が大勢の一歩に繋がることを期待し、これからも活動を続けてまいります」

## 米山学友が年賀状をデザイン

米山記念奨学会事務局では、評議員・理事・地区米山奨学委員長・他団体など、毎年約500枚の年賀状を送っています。今年、第2680地区の米山学友、林資穎さん(台湾/神戸西神RC)が年賀状のデザインをしてくださいました。林さんは神戸芸術工科大学大学院を卒業後、水墨画アーティストとして活躍中です。昨年は、同地区学友会の企画でネパール大地震復興支援のチャリティー絵皿を制作し、募金活動へも貢献しました。



### 林資穎さんからのメッセージ

申年の年賀状をデザインさせていただき本当にありがとうございます。ロータリーの輪をイメージしました。お父さん猿が家族の基盤を支え、家族みんなが協力し合って大事な役割を果たしています。良い家庭があってこそ世界がうまく回っていくのかなと思います。皆さんにとって、平和な一年になりますよう心からお祈りいたします。



平成28年1月25日

ガバナー各位

ロータリー文庫運営委員会  
委員長 中村博直

拝啓

新春の候、貴ガバナーはじめスタッフの皆様には益々ご健勝にてご活躍の事とお慶び申し上げます。また常々文庫へのご協力を心から感謝致しております。このたびは、下記8点をご紹介しますので「ガバナー月信」にご掲載下さるようお願い致します。なお今後ともご活躍とご成功を心からお祈り致しております。

敬具

追伸 下記ご掲載の場合は〔申込先〕もご記載下さるようお願い致します。

## 文庫通信 (341号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

### 最近のロータリー資料から

- ◎ 「『会員増強』は誰のため？」 野中玄雄 2015 2p (D.2730月信)
- ◎ 「会員増強および拡大月間に寄せて」 貞方正一 2015 2p (D.2740月信)
- ◎ 「会員増強・拡大特別月間特集」 2015 5p (D.2820月信)
- ◎ 「会員増強ドリームプランの実践」 野上征利 2015 6p (第43回ロータリー研究会報告書)
- ◎ 「韓国の会員増強と維持について」 SangKoo Yun 2015 3p (第43回ロータリー研究会報告書)
- ◎ 「会員を引き込む」 2015 2p (D.2570会員増強セミナー資料)
- ◎ 「サクセス・ジャパン大作戦 10万人会員を目指して」 松宮 剛・北 清治・辰野克彦 2015 2p (D.2570会員増強セミナー資料)
- ◎ 「会員は何故減少するのか。会員増強に妙手はあるのか。どうあるべきか 今後のロータリー」 久野 薫 2015 20p (新ロータリーを語ろう)

[上記申込先：ロータリー文庫]

## ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3階

TEL(03) 3433-6456

FAX(03) 3459-7506

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日